

沖縄県立芸術大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	沖縄県立芸術大学		設置者名	沖縄県			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
美術工芸学部	美術学科 絵画専攻	10人	中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	10人	5人 5人 3人	0人
	美術学科 彫刻専攻	5人	中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	6人	1人 0人 1人 0人	0人
	美術学科 芸術学専攻	6人	中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸)	平成7年度 平成7年度 平成7年度	8人	5人 4人 5人 0人	0人
	デザイン工芸 学科 デザイン専攻	20人	中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	18人	5人 0人 5人 1人	0人
	デザイン工芸 学科 工芸専攻	24人	中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	25人	10人 10人 8人	0人
音楽学部	音楽学科 声楽専攻	8人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽)	平成2年度 平成2年度	6人	1人 1人 1人	0人
	音楽学科 器楽専攻	12人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽)	平成2年度 平成2年度	14人	7人 6人 7人	0人
	音楽学科 音楽学専攻	6人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽)	平成2年度 平成2年度	5人	2人 1人 2人	0人
	音楽学科 琉球芸能専攻	14人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽)	平成2年度 平成2年度	13人	1人 1人 1人	0人

入学定員合計	105 人	合計	105 人	37 人	0 人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科の実人数を、右側には学科内の教員免許課程ごとの人数を記載している。				

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
<p>全般的事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の伝統文化の継承と発展に寄与し、高いレベルの一般芸術や技能を有するバランスのとれた実践的指導力を持った教員養成を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術系の大学であり、教育課程では、実技・実習がその中心をなしている。その上で教職課程を置くと、授業科目の増加や教育実習・学校現場体験などの充実に困難が生じると思われるが、教員免許課程を有する上では、全学的な教職課程委員会を通じて、教員養成に関する取り組みを強化すること。 ・沖縄の芸術的風土を高めるためにも、芸術の専門性の高い教員養成により一層努めてほしい。
<p>個別的事項</p>	<p>教員養成に対する理念等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習や介護等体験に関する事項など教職課程全般に関わる事項を全学的に審議できる、教職課程委員会を平成17年度に設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学内の教職課程委員会などを通じて、議論を重ねてほしい。また、教員像を議論し、教育課程・教員組織・施設設備などにそれが反映されたものになるように、検討してほしい。
	<p>教育課程</p> <p>教職に関する科目等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「情報処理教育」が、学生の情報機器の基本的な操作を学習する科目になっている。 ・授業科目「総合演習(Bクラス)」の授業内容が、小・中・高における総合的な学習の時間に対応する内容になっている。 ・授業科目「学校カウンセリング」が、カウンセリングの理論に特化しすぎている。 ・講義概要(シラバス)では、科目によって、15回の授業回数確保されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「情報処理教育」については、学生が教員になったときに、情報機器を活用しながら、どのように授業を展開すればよいかを学修できるようなものとなるよう、内容を組み立ててほしい。 ・総合演習の設置趣旨に合致したものにすること。 ・教育相談(カウンセリングに関する基本的な知識を含む)の理論及び方法の設置趣旨に合致した内容にすること。 ・授業時間数の確保に努められたい。
	<p>教育実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在学生の半数が県外出身者であり、実習校は原則として母校実習である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員が、実習生を受け入れている実習校に出向き、指導するなど、全学的な教職指導体制や実習校との連携を今後も図ってほしい。
	<p>教職指導、介護等体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対する履修相談・履修指導は、教職課程教員及び事務局担当者で随時実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関するコーナーの設置を検討してほしい。

<p>免許状取得状況及び教員就職状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、沖縄県内に、100人程度の本学卒業生が、学校現場で活躍している。また、卒業生と教職課程との連携と協力体制を築くため、平成17年度にOB会を立ち上げるなど、教職に力を入れている。 ・現在の沖縄県内の教員就職者数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内の教員就職指導に努められたい。
<p>施設・設備の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に関する図書は、75, 576冊(平成18年4月1日現在)。 ・学生1人あたりのコンピュータの端末数は、0. 24台(同)。 ・奏楽堂などの施設が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や情報機器の設備が整っている。なお、教職に関わる図書を、学生の目にするところに配置してほしい。 ・中・高校生を視野に、オペレッタなどの構成・演出の演習を期待したい。